

一般外科・小児外科・肛門外科

1. 概要

(1) 一般外科・小児外科

2020年はコロナ禍の影響を受け、手術総数は1,584件で、2019年の1,724件と比べ140件（-8.1%）の大幅な減少となった。そのうち15歳以下の小児手術は135件、全緊急手術は325件（325/1,584、20.5%）でこれは逆に2019年の19.7%（総数339件）と比べ若干増加した。このうち鏡視下手術は134件（134/325、41.2%、昨年118件、34.8%、一昨年101件 30%）で昨年より大幅に増加していた。

全症例について総覧すると対象疾患は、当院の性格上、虫垂炎やヘルニアといった日常的な疾患から甲状腺（24件）・消化器・乳腺（112件）まで幅広い。しかしいずれも去年の実績よりは減少していた。

腹腔鏡下手術は、胃癌手術26件（26/80 32.5%、昨年32%、一昨年28%）でその割合は徐々に増加し、大腸癌切除では88件（88/174、50.6%、昨年48%、一昨年33%）とこちらも割合を増加させ続けている。腹腔鏡下肝部分切除9件（9/23、39%、昨年48%、一昨年58%）は若干数も割合も下げたが、腹腔鏡下膵体尾部切除は3件（3/12、25%、昨年6.7%）が行われ、その割合を増加した。虫垂や成人鼠径ヘルニアに対してもさらに積極的に腹腔鏡を導入し、虫垂炎手術で93件（93/108、86%、昨年63%、一昨年40%）、鼠径ヘルニア手術40件（40/175、22.8%、昨年16%、一昨年16%）と件数、割合とも増加させていた。最近では腹壁癒痕ヘルニアに対しても腹腔鏡下Tension free repairを用い、2020年にも3件（3/26件、11.5%）に行った。

2014年11月より直腸癌に対するロボット支援下手術を臨床研究として開始し一昨年までは順調に症例を伸ばしたが、去年はコロナ禍で、2019年の16件に対して2020年は14件と減少した。2015年4月から早期胃癌に対して行っているロボット支援手術も、2019年の17件に対し2020年は12件と減少した。

乳癌手術もコロナ禍の影響を受けて91件（昨年131件、一昨年138件）と減少した。乳房温存手術は74件（74/91、81%、昨年65%、一昨年41%）、センチネルリンパ節生検陰性は74件で、昨年とほぼ同様の傾向であった。肝切除は35件（昨年40件）で、疾患別内訳は、原発性肝癌 9件、胆管細胞癌4件、転移性肝癌 19件、胆道癌 3件。膵頭十二指腸切除は18件行われた。この疾患別内訳は、膵癌 14件、胆嚢・胆管癌 1件、乳頭部癌 1件、IPMC 2件。またIPMCに対して膵全摘を1件行った。食道悪性腫瘍は5件に根治手術が行われ、すべて3領域郭清であった。上部消化管潰瘍穿孔18件のうち非手術的保存療法は7件（39%）だった。腸閉塞入院は158件のうち51件（32.3%）に手術が施行された。小児外科手術は名古屋大学小児外科と連携して治療に当たっており2020年は135件で、新生児手術は3件であった。一般外科全体の入院総数はこちらもコロナ禍の影響を受け2,099人と去年の2,353人より10.8%減少し、平均入院期間は10.9日で去年の9.8日よりわずかに増加した。

（第一部長 平松 和洋）

(2) 肛門外科

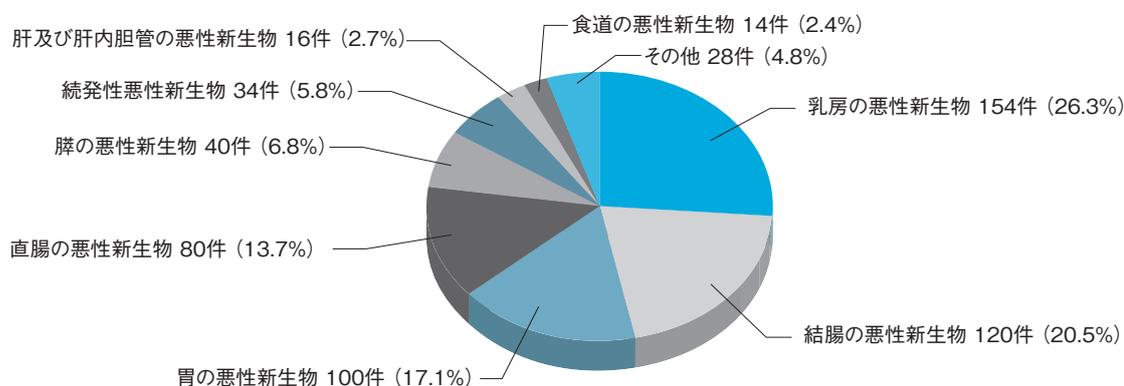
肛門外科は当院移転新設に伴い、単科標榜された。現在は厚生労働省の標榜指導にて『肛門外科』だが、診療・治療は一般外科と共同での運営である。外科外来診療における統計では、悪性疾患治療を除くと痔核を筆頭とした肛門疾患、肛門に関する症状にて受診される患者が多い。多くの施設がそうであるように外科外来当番医が対応していることもあるが、肛門というデリケートな部分で専門性を必要とするため、やはり専門家での診療・治療を希望される方も多く、日本大腸肛門病学会の専門医として診療にあたっている。近隣の診療施設からの紹介も多く、肛門外科標榜は木曜日の一日であるが、常勤で外科診療に携わっている利点から、日々時間が許す限り診察や治療に当たることが可能である。外来診察の際は、専門性を求めて来られる方が安心して受診できるような対応を心掛け、診察で不自由・不快な思いを持たれないように努力している。肛門疾患に対しては、一般的な対応を主として、外来処置や生活指導・薬物療法など保存治療に重きを置き、症状によって、また患者さんのQOLの面から手術適応を決めている。近年大腸がんも増加傾向にあり、肛門症状で受診された患者には大腸検査を受けていただくようにしている。専門外来として“ストーマ外来”を認定看護師とともに行っている。

（部長 柴田 佳久）

2. 新規登録疾患

(1) 悪性新生物

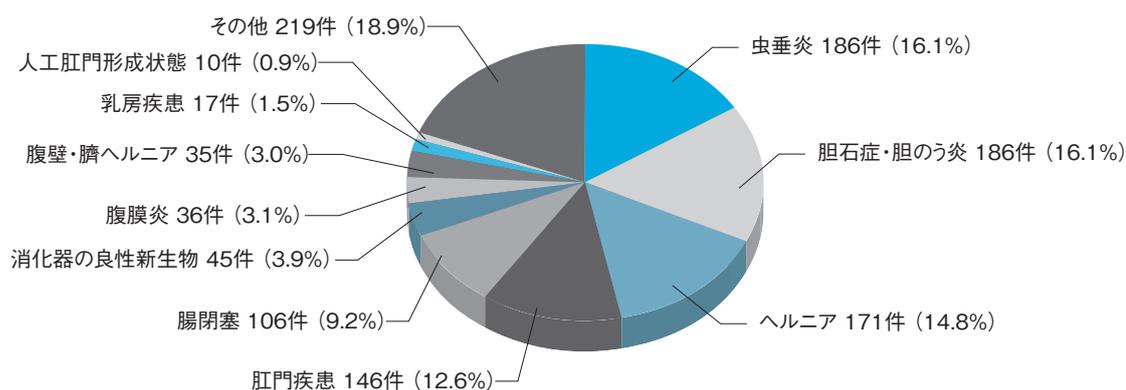
総数：586件



疾患名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
乳房の悪性新生物	乳房の悪性新生物, 乳房上外側 4 分の 1	52	C504
	乳房の悪性新生物, 乳房, 部位不明	49	C509
結腸の悪性新生物	結腸の悪性新生物, 上行結腸	41	C182
	結腸の悪性新生物, S 状結腸	41	C187
胃の悪性新生物	胃の悪性新生物, 胃, 部位不明	70	C169
	胃の悪性新生物, 胃体部	10	C162
直腸の悪性新生物	直腸の悪性新生物	80	C20
膵の悪性新生物	膵の悪性新生物, 膵頭部	15	C250
	膵の悪性新生物, 膵管	8	C253
続発性悪性新生物	肝及び肝内胆管の続発性悪性新生物	23	C787
	後腹膜及び腹膜の続発性悪性新生物	6	C786
肝及び肝内胆管の悪性新生物	肝及び肝内胆管の悪性新生物, 肝細胞癌	10	C220
	肝及び肝内胆管の悪性新生物, 肝内胆管癌	6	C221
食道の悪性新生物	食道の悪性新生物, 食道, 部位不明	5	C159
	食道の悪性新生物, 胸部食道	4	C151

(2) 悪性新生物以外

総数：1,157件



疾患名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
虫垂炎	急性虫垂炎, その他及び詳細不明	142	K358
	詳細不明の虫垂炎	21	K37
胆石症・胆のう炎	胆のう炎を伴わない胆のう結石	111	K802
	急性胆のう炎	34	K810
ヘルニア	一側性又は患側不明のそけいヘルニア, 閉塞及びえ疽を伴わないもの	146	K409
	一側性又は患側不明のそけいヘルニア, 閉塞を伴い, え疽を伴わないもの	12	K403
肛門疾患	痔核, 詳細不明	82	K649
	裂肛, 詳細不明	15	K602
腸閉塞	閉塞を伴う腸癒着[索条物]、イレウス, 詳細不明	43	K565, K567
	その他及び詳細不明の腸閉塞	29	K566
消化器の良性新生物	口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物, その他の消化器	10	D377
腹膜炎	急性腹膜炎	32	K650
腹壁・臍ヘルニア	臍ヘルニア, 閉塞及びえ疽を伴わないもの	17	K429
	癒痕ヘルニア, 閉塞及びえ疽を伴わないもの	11	K432
乳房疾患	乳房の良性新生物	17	D24
人工肛門形成状態	人工肛門造設状態	8	Z933

3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数 36,186人 年間外来新患者数 2,005人
 年間入院患者数 23,530人 年間入院新患者数 1,990人

(2) 2020年1月～12月入院概要 (全2,099人、平均入院期間10.9日、未退院0人)

疾患名	治療法	患者数 (人)	平均入院 日数(日)
イレウス	手術	51	22.8
	保存療法	107	8.3
外傷	手術	5(1:医原)	40.9
	IVR	1	12
	保存療法	10	9.1
血管系緊急 (塞栓・解離など)	手術	2	17
	IVR	6	11.3
	保存	11	9.9
合併症治療 (感染性)	手術	1	10
	IVR	1	7
	保存療法	24	14.1
合併症治療 (出血性)	IVR	1	36
合併症治療 (その他)	手術	3	9.3
	IVR	2	9.0
	保存療法	9	16.3
抗がん剤有害事象	保存療法	52	9
	緩和療法	1	27
その他	IVR	1	9
	保存治療	32	8.2
	予定手術	21	7.9
	緊急手術	2	10
	緩和療法	1	48
その他/悪性	保存治療	1	19.0
	緊急手術	1	1
	予定手術	7	24.8
	緩和療法	1	11
甲状腺/良性	手術	16	5.2
甲状腺/悪性	手術	10	7.8
副腎良性	予定手術	0	-
新生児	緊急手術	0	-
非新生児	予定手術	69	2.3
	緊急手術	7	3.4
	保存療法(検査)	7	3.7
	手術中止	1	1
腹腔内癌再発	手術	7	15.9
	保存・緩和療法	7	26.4
腹膜炎	手術	29	24.2
	IVR	1	46.0
	保存療法	24	13.9
ヘルニア	手術	224	3.1
	保存療法	3	7
	手術中止	1	2.0
痔核・痔瘻	手術	13	6.8
	保存療法	1	4
	手術中止	1	1
虫垂	待機手術	29	5.2
	緊急手術	101	4.9
	保存療法	30	6.7

疾患名	治療法	患者数 (人)	平均入院 日数(日)
胃十二指腸/良性	予定手術	6	22
	緊急手術	11	16
	IVR	2	11.5
	保存治療	7	27.3
肥満症	予定手術	13	13.5
胃十二指腸/悪性	予定手術	97	18.3
	化学療法	8	3.6
	放射線治療	1	15.0
	緩和療法	6	12.3
	保存療法	32	15.7
	IVR	4	29.5
	手術中止	1	7.0
肝胆膵脾	予定手術	233	10.3
	緊急手術	31	6.6
	IVR	2	4.0
	保存療法	22	11.3
	手術中止	5	7.4
小・大腸/悪性	予定手術	185	17.2
	緊急手術	22	20.7
	保存療法	75	12.6
	緩和療法	21	10.6
	放射線治療・IVR	6	19.2
	化学療法	1	5.0
小・大腸/良性	予定手術	52	14.6
	緊急手術	3	11.3
	保存療法	5	10.6
	手術中止	1	0.0
食道/悪性	予定手術	5	26.2
	保存療法	12	13.4
	化学療法	14	10.1
	放射線治療・IVR	3	28.0
乳腺/その他	予定手術	9	3.1
乳腺/悪性	予定手術	92	5.9
	保存療法	53	17.2
	緩和療法	5	5.2
	化学療法	1	16
	放射線治療・IVR	11	20.5
CVポート関連	保存療法	1	4
	予定手術	70	4.5
	緊急手術	3	17
術後後遺症その他	保存療法	41	15.4
	IVR	2	30.5
	緊急手術	1	1

(3) 一般外科・小児外科手術数 (2020年) 1,584例

①一般外科	1,584	(オ)小腸・大腸	
全身麻酔	1,298	a良性疾患	124
脊髄麻酔	33	(a)小腸切除	27(2)
局部麻酔	253	(b)腸瘻造設	6
(ア)甲状腺	24	(c)腸瘻閉鎖	40
a良性疾患		(d)腸吻合	2
(a)部分切除	0	(e)結腸直腸切除	21(6)
(b)葉切、亜全摘、全摘	16	(f)大腸亜全摘	0
b悪性疾患		(g)癒着剥離	28(1)
(a)部分切除、亜全摘、他	2	(h)経肛門/経仙骨	0
(b)全摘	4	(i)単開腹/その他	0
(c)その他	2	a悪性疾患	221
(イ)乳腺	112	(a)腸瘻造設	32(5)
a良性疾患	11	(b)腸吻合	1
摘出	9	(c)小腸切除	4
腺管区域切除	2	(d)結腸切除	118(54)
b悪性疾患	91	(e)直腸切除(高位、低位)	44(28、ロボット12)
(a)定型乳切	0	(f)直腸切断	12(6、ロボット2)
(b)非定型乳切(Bt+Ax)	17	(g)経肛門/仙骨的切除	0
(c)Bt±SLNB	47	(h)骨盤内臓全摘	9
(d)乳房温存手術±SLNB	27	(i)大腸亜全摘	1
(e)Tm他	0	(j)単開腹/その他	0
(ウ)食道	5	(カ)虫垂炎(虫垂/回盲部切除)	108(93)
a良性疾患	0	(キ)肝/胆/膵/脾	
b悪性疾患		(a)肝部分切除	23(9)
(a)胸部食道切除	5	(b)肝区域/葉切除	12
(b)その他	0	(c)胆嚢床切除	0
(エ)胃・十二指腸		(d)開腹胆嚢摘出術	13
a良性疾患	25	(e)腹腔鏡下胆嚢摘出術	174
(a)胃切除、胃全摘	1	(f)開腹胆管切開術	3
(b)体網充填	11	(g)胆管消化管吻合	0
(c)スリーブ状胃切除	13(13)	(h)胆管切除	1
b悪性疾患	98	(i)膵頭十二指腸切除(PD)	1
(a)幽門側胃切除	52(23、ロボット11)	(j)亜全胃温存PD	17
(b)胃全摘	28(3、ロボット1)	(k)膵体尾部切除	12(3)
(c)噴門側胃切除	4(1)	(l)膵全摘	1
(d)胃腸吻合	2	(m)膵部分切除	0
(e)楔状切除/十二指腸切除	9(5、LECS0)	(n)膵管空腸吻合	0
(f)PD	0	(o)脾摘	1(1)
(g)試験開腹/その他	3	(p)胃腸吻合	1
		(q)単開腹/その他	2

(ク)内分泌	(ソ)その他
(a)副甲状腺 …………… 0	(a)非悪性 …………… 34(4)
(b)副腎 …………… 0	(b)悪性 …………… 11
(ケ)ヘルニア	②小児外科(全例全身麻酔)…………… 135
(a)鼠径大腿 …………… 175(40)	(ア)新生児手術……………3(1)
(b)腹壁・臍・閉鎖孔など …………… 26(3)	(イ)鼠径ヘルニア……………50(48)
(コ)痔核痔瘻……………13	(ウ)虫垂切除……………29(25)
(サ)局麻手術…………… 140	(エ)精巣固定……………17
(a)摘出、生検……………16	臍形成……………10
(b)CVポート …………… 123	(オ)幽門筋切開…………… 0
(c)その他 …………… 1	(カ)その他…………… 26(6)
(シ)外傷/医原性 ……………15	(キ)局麻手術…………… 0
(ス)腹膜炎…………… 46(1)	
(セ)腹腔内癌再発……………18	()はその内の鏡視下手術件数、ロボット支援手術

学会発表（医局）

（一般外科）

1	権田 紘文.食道癌術後に門脈ガス血症を伴う腸管気腫症に対して保存加療を行った1例.第53回愛知臨床外科学会.名古屋市.2020/2/11
2	浅井真理子.診断にPET-CTが有用であった糖尿病性乳腺症を合併した副乳癌の一例.第53回愛知臨床外科学会.名古屋市.2020/2/11
3	長谷川琢哉.ロボット支援腹腔鏡下直腸切除術後,ポートサイトヘルニアを来した一例.第53回愛知臨床外科学会.名古屋市.2020/2/11
4	平松 和洋.胃内腔発育型C-Kit陽性GISTに対する単純くり抜き法の成績 .第120回日本外科学会定期学術集会.横浜市.2020/08/13-2020/08/15
5	青葉 太郎.80歳以上の高齢者に対する高難度肝胆膵手術症例の検討 .第120回日本外科学会定期学術集会.横浜市.2020/08/13-2020/08/15
6	柴田 佳久.当院におけるc-KIT陰性GIST症例の検討 .第120回日本外科学会定期学術集会.横浜市.2020/08/13-2020/08/15
7	伊藤 量吾.当院における90歳以上高齢者腹部緊急手術症例の検討.第120回日本外科学会定期学術集会.横浜市.2020/08/13-2020/08/15
8	柴田 淳平.胸部皮下脂肪面積が埋め込み型中心静脈リザーバー留置術後の合併症発生に与える影響 .第120回日本外科学会定期学術集会.横浜市.2020/08/13-2020/08/15
9	大宮康次郎.急性胆嚢炎のMRI所見と病理学的変化の検討—手術困難症例の予測— .第120回日本外科学会定期学術集会.横浜市.2020/08/13-2020/08/15
10	平松 和洋.当院の甲状腺手術における術中上喉頭神経外枝神経モニタリングの経験.第32回日本内分泌外科学会学術集会.長崎市.2020/09/17-2020/09/18
11	浅井真理子.組織学的皮膚浸潤とリンパ節転移の関連性について Relationship between histological skin invasion and lymph node metastasis.第28回日本乳癌学会学術総会.Web.2020/10/09-2020/10/31
12	伊藤 量吾.有害事象によりPalbociclibからAbemaciclibに変更した症例の検討 Examination of patients who received Abemaciclib after Palbociclib due to adverse even.第28回日本乳癌学会学術総会.Web.2020/10/09-2020/10/31
13	荒川 拓也.浸潤性乳癌に対する補助化学療法のRelative dose intensity において臨床・病理学的因子が与える影響の検討 Analysis of Relative dose intensity of adjuvant chemotherapy for infiltrating breast cancer.第28回日本乳癌学会学術総会.Web.2020/10/09-2020/10/31
14	吉原 基.進行・再発乳癌におけるCDK4/6阻害剤使用例のエベロリムスの前使用の有無による検討Effect of CDK4 / 6 inhibitor use after Everolimus use in metastatic breast cancer.第28回日本乳癌学会学術総会.Web.2020/10/09-2020/10/31
15	柴田 佳久.脾 Inflammatory pseudotumor-like follicular/fibroblastic dendritic cell (FDC/FRC) sarcoma の1切除例と経過観察中自然消失した脾炎症性偽腫瘍の1例.第82回日本臨床外科学会総会.大阪市.2020/10/29-2020/10/31
16	Taro Aoba.Laparoscopic Liver Resection in patients with previous upper abdominal laparotomy.14th World Congress of the Hepato-Pancreato-Biliary Association (IHPBA).Melbourne/Australia.2020/11/27-2020/11/29
17	Kojiro Omiya .Preoperative MRI Assessment for Predicting Surgical Difficulty during Laparoscopic Cholecystectomy for Acute Cholecystitis.14th World Congress of the Hepato-Pancreato-Biliary Association (IHPBA).Melbourne/Australia.2020/11/27-2020/11/29
18	Kazuhiro Hiramatsu .Pancreatic resection for metastatic tumors to the pancreas.14th World Congress of the Hepato-Pancreato-Biliary Association (IHPBA).Melbourne/Australia.2020/11/27-2020/11/29
19	柴田 佳久.大腸癌術後周術期クリニカルパスでの早期エレンタール飲用の検証.第75回日本消化器外科学会総会.和歌山市.2020/12/15-2020/12/17
20	大宮康次郎.術前 MRI を用いた急性胆嚢炎に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術の難度予測.第75回日本消化器外科学会総会.和歌山市.2020/12/15-2020/12/17

研究会発表（医局）

（一般外科）

1	青葉 太郎.当院における急性虫垂炎の治療方針と成績.第64回名古屋腫瘍外科 内外研究会.名古屋市.2020/1/11
---	--

論文・著書 (医局)

(一般外科)

1	Kazuhiro Hiramatsu. Novel use of the Nathanson liver retractor to prevent postoperative transient liver dysfunction during laparoscopic gastrectomy. Asian J Endosc Surg. 2020; 13: 293-300.
2	野中有紀子. 腹部刺創33例の検討. 日腹部救急医学会誌. 2020; 40: 29-34.
3	Jumpei Shibata. Gastric remnant necrosis secondary to cholesterol crystal embolization after distal gastrectomy in a gastric cancer patient: a case report. BMC Surg.. 2020; 20 .
4	柴田 淳平. 転移性肝癌が疑われた落下胆石による腹腔内膿瘍の1例. 外科. 2020; 82: 389-394.
5	Kojiro Omiya. Preoperative MRI for predicting pathological changes associated with surgical difficulty during laparoscopic cholecystectomy for acute cholecystitis. BJS Open. 2020; 4: 1137-1145.
6	権田 紘丈. 腹部大動脈瘤人工血管置換術後の非吻合部仮性動脈瘤に対してステントグラフト内挿術を施行した1例. 東三医学会誌. 2020; 42: 18-20.
7	Hirotake Gonda. Primary Cardiac angiosarcoma resection and reconstruction with pedicled autologous pericardium: A case report. Int J Surg Case Rep. 2020; 69: 61-63.
8	権田 紘丈. 後腹膜気腫をきたした重症急性膵炎の1例. 日腹部救急医学会誌. 2020; 40: 585-588.
9	権田 紘丈. 乳癌後腹膜リンパ節転移にて治療中に開腹生検で悪性リンパ腫と診断した1例. 乳癌の臨. 2020; 35: 25-28.
10	権田 紘丈. FDG-PET/CTが有用であった副乳癌合併糖尿病性乳腺症の1例. 臨放. 2020; 65: 1407-1410.